



## **GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社**

2025 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会

2025 年 8 月 7 日

## イベント概要

---

[企業名] GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

[企業 ID] 3788

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2025 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会

[決算期] 2025 年度 第 2 四半期

[日程] 2025 年 8 月 7 日

[ページ数] 36

[時間] 17:30 – 18:02  
(合計：32 分、登壇：23 分、質疑応答：9 分)

[開催場所] インターネット配信

[会場面積]

[出席人数]

[登壇者] 1 名  
代表取締役 社長執行役員 青山 満 (以下、青山)

---

### サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 登壇

---

**司会**：本日はお忙しい中、GMO グローバルサイン・ホールディングス、2025 年第 2 四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の説明会は、代表取締役、青山満よりご説明させていただきます。説明終了後、質疑応答の時間を設けております。それでは、これより開始させていただきます。青山社長、お願いいたします。

**青山**：GMO グローバルサイン・ホールディングス、代表取締役社長の青山でございます。本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。ただいまより、2025 年 12 月期第 2 四半期決算についてご報告申し上げます。どうぞ最後までよろしく願いいたします。

### 2025年Q2 エグゼクティブサマリー

---

#### 業績

- **過去最高の第2四半期連結売上高** を達成
- 連結営業利益は Q1 で失速したものの **回復基調**
- 「電子印鑑GMOサイン」は **営業黒字を継続**

#### 新商材

- グローバルで **VMC**（企業ロゴ所有証明書）の受注開始
- 国内企業への **eシール** の導入が決定
- **C2PA**（電子透かし）関連の実証実験を開始

2

GMO グローバルサイン+HD  
#GlobalSign

第 2 四半期の業績について、サマリーをお伝えします。

当社は第 1 四半期に続き、四半期として過去最高の売上を達成いたしました。一方、営業利益は前年同期比では微減となりましたが、着実に回復傾向にございます。重点商材である電子印鑑 GMO サインでは、半期での黒字化を達成し、収益構造が安定しつつあることを実感しております。

---

#### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

また、将来の成長を担う新商材についても具体的な進展がございます。グローバルでの受注を開始したVMC（企業ロゴ所有証明書）、国内で導入が始まったeシール、そして実証実験が進行中のデジタルコンテンツ、信頼性担保のC2PAなど、信頼技術の分野で着実に一步ずつ前進しております。

## 目次

---

<b>01</b>	<b>持続的価値創造の原動力</b>	04
<b>02</b>	<b>2025年 第2四半期決算概要</b>	13
<b>03</b>	<b>事業概況</b>	18
	電子認証・印鑑事業	19
	クラウドインフラ事業	35
	DX事業	40

3

※説明動画は以下のページよりご視聴ください  
[https://www.gmogshd.com/ir/library/financial\\_report](https://www.gmogshd.com/ir/library/financial_report)

GMOグローバルサイン+ID  
#GlobalSign

本日は、まず当社の強みと中長期ビジョンについておさらいさせていただいた後、決算概要および各事業の詳細をご説明いたします。

---

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 持続的価値創造の原動力

01 世界トップ4の電子認証局を運営

02 持続的成長を支える22のストック型事業

03 230を超える国と地域でサービス導入実績

4

GMOグローバルサインHD  
#GlobalSign

当社の成長の源泉は、大きく三つございます。

## 持続的価値創造の原動力

# 世界トップ4の電子認証局を運営

あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



5

GMOグローバルサインHD  
#GlobalSign

まず1点めは、グローバル展開している電子認証局の中で唯一の日本企業であり、SSL証明書の発行枚数では世界トップ4に入ります。28年以上の運用実績を誇り、国内外の電子契約ベンダーに認証技術を提供してまいりました。この蓄積が、新技術へのスピーディーな対応力に繋がっています。

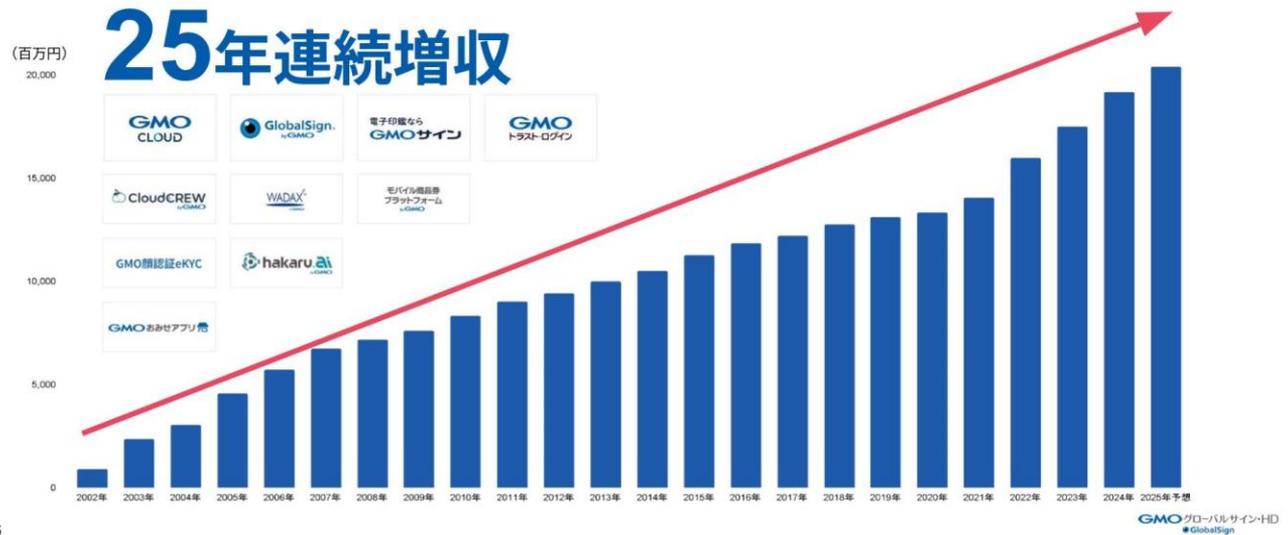
### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 持続的価値創造の原動力

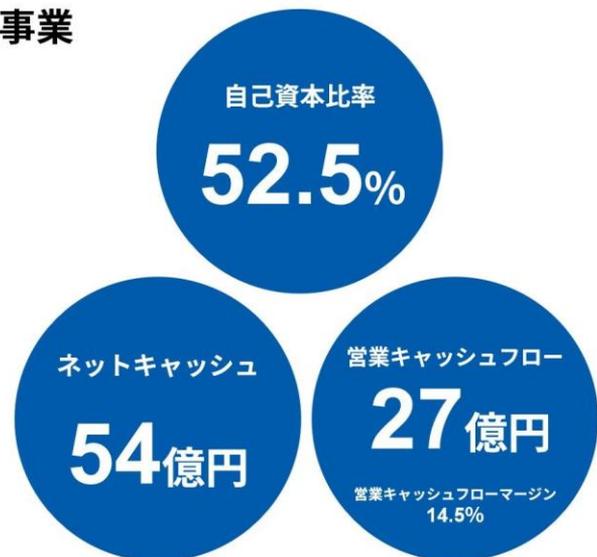
# 持続的成長を支える22のストック型事業



## 持続的価値創造の原動力

### 持続的成長を支える22のストック型事業

健全な財務体質と、  
成長を支える  
キャッシュ創出力



自己資本比率 : 「純資産 ÷ 総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。

ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。

営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

※2024年12月末現在

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

2点めは、22のストック型事業を基盤とした継続課金モデルによる安定収益構造。過去25年間増収を継続してきたこの実績が変化に強い体質を裏付けています。このビジネスモデルに支えられ、当社は健全な財務体質と高いキャッシュ創出能力を有しております。これにより、将来の成長に向けた投資を無理なく推進できる基盤が整っており、攻めと守りの両立を実現しております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 持続的価値創造の原動力



### 世界の各拠点から約230の国・地域にサービスを提供

8

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

3点めは、事業のグローバル展開です。世界各地に拠点をもち、現在約230の国と地域に電子認証サービスを提供しております。IT先進国である米国や、法制度を含めてプライバシーやID管理の先進国である欧州に子会社を持つことで、最新の制度動向やテクノロジーにいち早く対応できる体制を整えております。

## 持続的価値創造の原動力

### グローバル展開



### グローバル企業に、認証技術・SSL証明書などを提供

9

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

### サポート

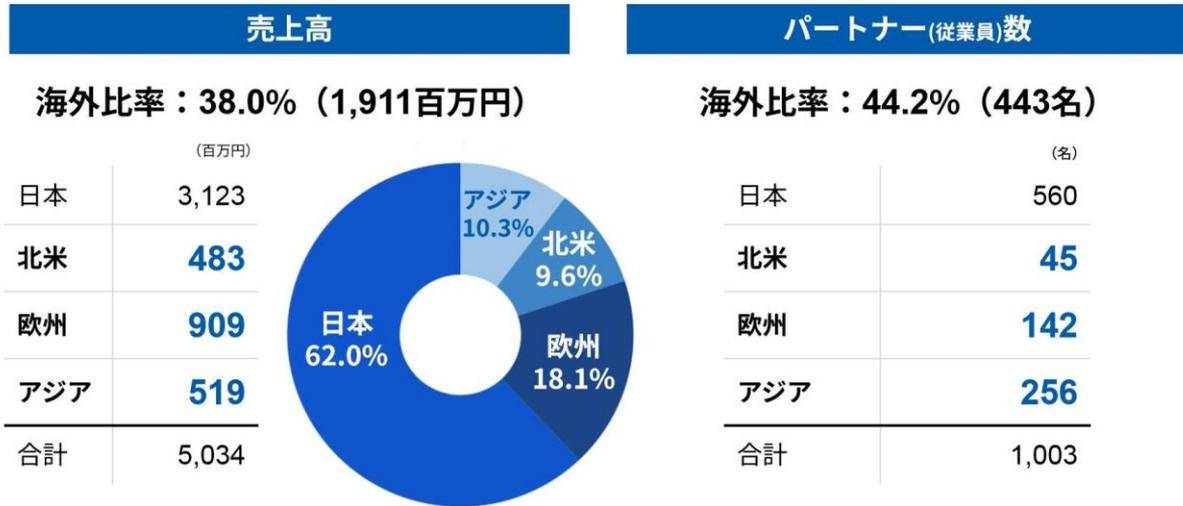
日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



こちらは、海外子会社の Web ページで公開している、当社が発行した SSL 証明書や電子署名、もしくは認証技術を提供している企業の一例となります。ご覧のとおり、名だたるグローバル企業様が当社をお選びいただいております。

## 持続的価値創造の原動力

### グローバル展開



10

GMOグローバルサイン+HD  
#GlobalSign

こちらは売上高と、私達はパートナーと呼んでおります従業員数の地域別一覧でございます。

売上については、今後さらに海外市場の比率を拡大してまいります。一方で、海外の人件費高騰に対応すべく、開発拠点の再編など、コスト最適化にも取り組んでおります。一時的なコストは発生するものの、来期以降にそれらの成果が十分発揮できるものと見込んでおります。今後もグローバルな成長と経営効率の両立を図ってまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



# 2035年、売上1,000億企業へ



### <重点成長分野> 電子認証・印鑑事業

圧倒的No.1のストックサービスへの基盤固めと、グローバル拠点の継続的な成長実現を目指すべく、経営資源を集中し成長循環の活性化に取り組む



### <持続成長分野> クラウドインフラ事業

重要な安定収益源としてマネージドサービスによる売上拡大と、既存顧客との関係強化による利益拡大および業務効率化により、収益体質の強化を通じた着実な利益創出を図る



### <次期成長分野> DX事業

次世代の取り巻く環境へ対応するための技術研究と開発活動、および未知なる領域に向けての様々な取り組みにより、新たな事業領域への展開を目指す

セキュリティでインターネットの安全を支える

AI・クラウド活用で企業のDXを支援

11

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

次に、中期経営方針でございます。

当社は2022年から2026年までの5年間で、企業価値向上のための土台構築期と位置付けており、提供するサービスと体制基盤を大きく進化させるべく、経営資源の集中と事業ポートフォリオの最適化を進めてまいります。電子認証・印鑑事業を重点成長分野、クラウドインフラ事業を持続成長分野、DX事業を次期成長分野と定め、それぞれに適した戦略と投資を進めてまいります。その結果、2035年に売上1,000億円規模の企業を目指し、グローバルな競争力を有するITセキュリティ企業へと進化してまいります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## コーポレートトピックス

### 子育てサポート企業として厚生労働省の「くるみん」認定を取得

働きやすい職場を実現するために策定した行動計画に基づき、男性社員の育児休業取得率向上、女性社員の育児休業取得率の向上を目指した各種施策が評価され、本認定を取得いたしました。今後もESG経営の一環として、仕事と育児の両立に向けた取り組みを積極的に推進するとともに、全社員がいきいきと活躍できる職場環境の実現を通じて、持続可能な企業価値の向上と社会課題の解決に貢献してまいります。



### 「ESG基本方針」の策定

すべてのステークホルダーの皆さまに、当社のサステナビリティ推進方針や考え方・目標・体制を理解していただくことを目的として策定を進めています。当社が事業活動を通じて社会の期待に応えていくうえで、持続可能性（サステナビリティ）を保つことは大切な経営課題であると同時に、当社の更なる事業機会創出にもつながると認識しています。基本方針は今秋当社WEBサイトにて公開予定となっております。

12

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

最後に、当社のトピックスを2点ご案内いたします。

当社は子育て支援に積極的に取り組む企業として、厚生労働省のくるみん認定を取得いたしました。男性、女性パートナーともに、育児休暇の取得率が高く、基準を大きく上回っていることが今回の認定の要因となりました。当社では、働くパパ、ママが安心して仕事に従事できる環境や制度を整えております。全てのパートナーが生き生きと活躍できる職場環境の実現を通じて、持続可能な企業価値の向上と社会課題の解決に貢献してまいります。

2点めは、ESG経営についてでございます。現在、ESG基本方針を策定中であることは、前回の決算発表でもご報告申し上げたとおりであり、その内容については、今年秋に当社のウェブサイトにて公開予定でございます。

当社は認証インフラという社会的責任の高い事業を担っております。今後も持続可能性を意識した経営を進めながら、企業としての信頼性と成長機会の拡大を両立させてまいります。

さて、これまで説明させていただいたことを土台に、当四半期も重点商材を中心に事業成長いたしました。ここからは、2025年第2四半期の決算概要についてご説明いたします。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 2025年Q2 決算ハイライト

### 売上

#### 過去最高の第2四半期連結売上高を達成

特定の海外大手顧客の受注減少あったものの重点商材の売上増加により、売上高は前年同期比4.0%増の9,944百万円

### 重点商材

#### 高成長率を維持

「電子印鑑GMOサイン」 40.3%増

「GMOトラスト・ログイン」 29.4%増

※売上対前年同期比

### 営業利益

#### 成長投資による減益も回復基調

電子認証局の新プラットフォーム開発継続などによりコストが増加するも、重点商材の好調な業績により回復基調。営業利益は前年同期比20.2%減の593百万円

14

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

こちらが、第2四半期の決算のハイライトでございます。

売上面につきましては、過去最高を記録いたしました。

営業利益につきましては、成長投資の続行および大手企業からの受注減少などにより、前年同期比で減少しておりますが、重点商材の好調な業績により回復基調であると考えております。

## 2025年Q2 決算サマリー[累計比較]

### 過去最高の第2四半期連結売上高を達成

下半期、重点商材ならびに新商材（VMC・認定タイムスタンプ）の販売強化

(百万円)	2024年Q2実績	2025年Q2実績	前年同期比	2025年通期予想	進捗率
売上高	9,566	<b>9,944</b>	+4.0%	20,397	<b>48.8%</b>
営業利益	744	<b>593</b>	△20.2%	1,434	<b>41.4%</b>
経常利益	810	<b>577</b>	△28.7%	1,422	<b>40.6%</b>
親会社株式に帰属する 四半期純利益	507	<b>413</b>	△18.5%	880	<b>47.0%</b>
EBITDA※	1,121	<b>984</b>	△12.2%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

15

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

### サポート

日本 050-5212-7790

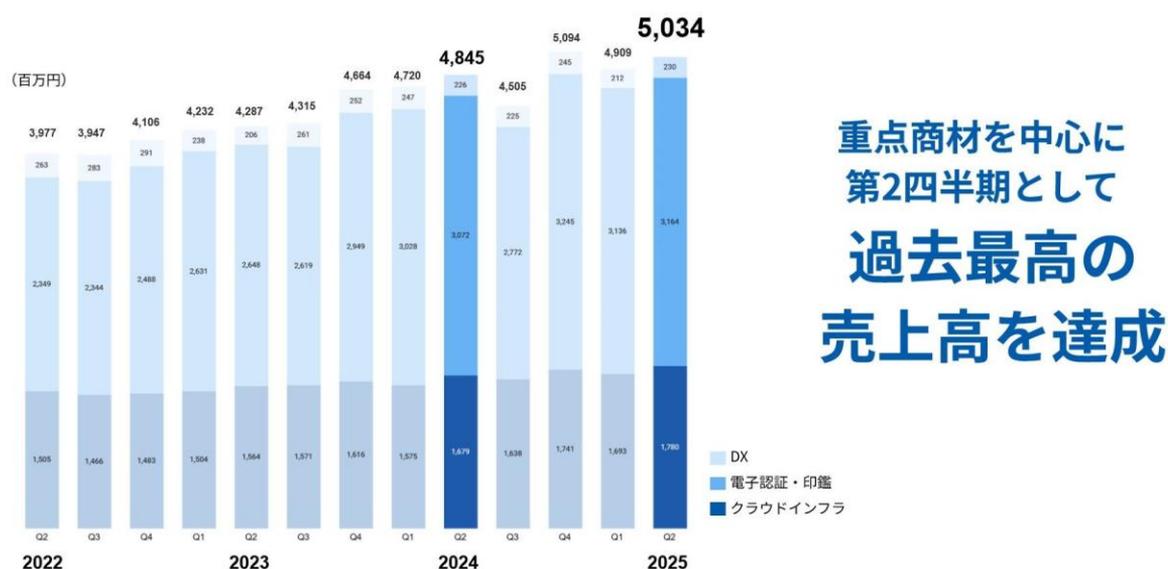
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

第2四半期の決算サマリーでございます。

連結業績は、売上高が99億4,400万円、営業利益が5億9,300万円となりました。重点商材の好調により、前年同期比約4%の増収となっております。営業利益は減収となっておりますが、下期は新商材の企業ロゴ所有証明書、VMCや認定タイムスタンプの更なる販売強化を行い、売上利益ともに通期予想どおりの着地を見込んでおります。また、VMCにつきましては、8月中にGMOインターネットグループの全社に導入する予定となっております。

## 四半期売上高推移



16

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

こちらは、四半期ごとの売上推移となります。

事業セグメント別では、前年同期比で、クラウドインフラ事業がプラス6%、電子認証・印鑑事業がプラス3%と売上増加に寄与しております。また、DX事業につきましても、プラス1.8%という結果となっております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

## 四半期営業利益推移



## 営業利益 回復基調

17

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

第2四半期の営業利益は、前年同期比3.9%減の3億800万円となりました。ただ、前年同期のマイナス幅は第1四半期時点と比較して大幅に減少しており、先ほどもご説明のとおり、回復基調にあると認識しております。

ここからは、各事業の業績について詳細にご説明いたします。

### 電子認証・印鑑事業

## 電子認証局の技術・ノウハウを活かしたサービス群



インターネット上の身元証明機関「電子認証局」を自社運営  
有償SSLシェア **(国内No.1)** **(世界No.4)**



立会人型・当事者型すべての署名を提供する電子契約サービス  
契約送信件数 **(国内No.1)**



ログイン認証強化サービス  
連携アプリ数 **(国内No.1)**

20

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



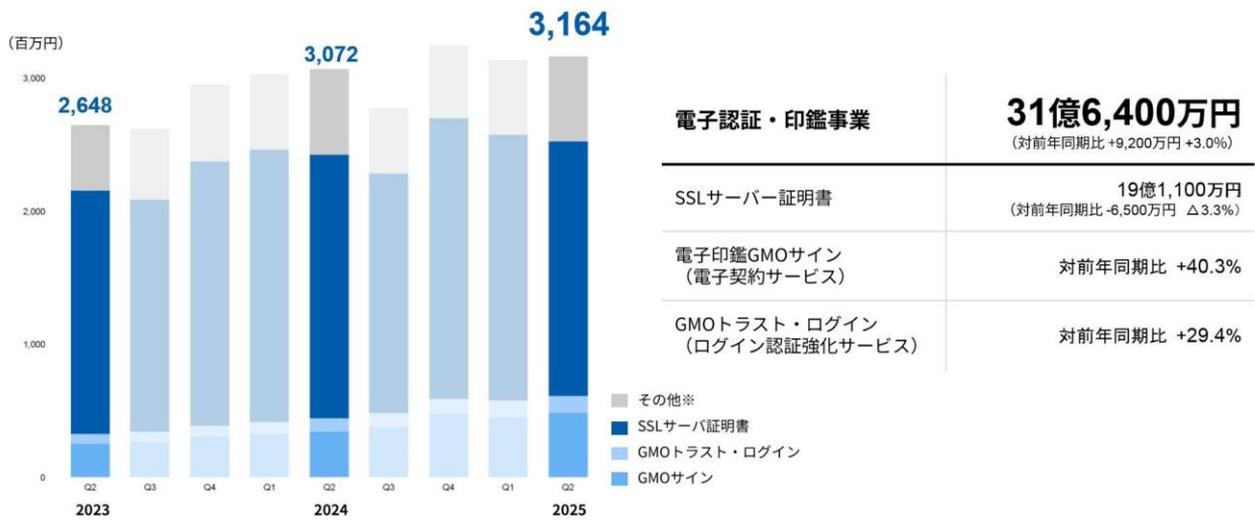
13

初めに、当社における重点成長分野であり、経営資源の集中投下を実行中の電子認証・印鑑事業でございます。

当セグメントの主なサービスは、ご覧のとおりでございます。当社は、自社保有の電子認証局の技術とノウハウを強みとし、オンライン上の安全と信頼を提供するITセキュリティ企業でございます。GlobalSignはSSLサーバー証明書の発行枚数において、国内シェアNo.1、グローバルではNo.4。電子契約サービスGMOサインは、契約送信件数において国内No.1。法人向けのログイン認証強化サービス、GMOトラスト・ログインは連携するアプリ数で現在国内No.1となっており、その数は8,000種類以上となっております。

## 電子認証・印鑑事業

### 商材別四半期売上高推移



21

※ GMOトラスト・ログインおよび電子署名サービス (電子印鑑ソリューションDSS)、クライアント証明書等の売上高

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

四半期ごとの商材別売上推移でございます。

セグメント全体では、前年同期比3%増の31億6,400万円となりました。SSLサーバー証明書につきましては、先ほど申し上げたとおり、前年同期比3.3%減の19億1,100万円という結果でしたが、重点商材であるGMOサイン、GMOトラスト・ログインは、引き続き右肩上がりの成長を続けております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

## 電子認証事業 2025年Q2 四半期サマリー

盗聴・改ざん・なりすまし防止（SSL・暗号セキュリティ）

### 業績

- 国内のSSL発行枚数 **シェア42.6%に成長** 着実にシェアを拡大
- 海外の大手企業一社からの受注減少が一時的な業績鈍化の主たる要因

### 新商材（VMC・eシール）

- 国内外で**VMC**（企業ロゴ所有証明書）の受注を開始
- 歯科矯正のD2C企業へ、**eシール**を導入

### PQC対応証明書

- **PQC（耐量子計算機暗号）対応** テスト用電子証明書の発行を開始  
遠くない将来のセキュリティ脅威への備えを支援

22

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

こちらは、電子認証事業のサマリーでございます。

国内の有償 SSL 発行枚数においては、シェア 2 の倍以上の 42.6%となり、平均すると、毎月 0.1 ポイントずつ増加を続けております。海外につきましては、先ほどご説明したとおり、海外の大手企業 1 社からの受注減少が、当四半期における業績鈍化の主な要因となっております。国内企業としては唯一、認証局として認定されている企業ロゴ証明書 VMC につきましては、グローバルで受注、そして発行を開始しております。差別化要素として非常に重要な戦略商材となっております。そして、将来的なセキュリティ脅威への備えとして、耐量子計算機暗号対応のテスト用電子証明書の発行を開始いたしました。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## VMC（企業ロゴ所有証明書）



- **グローバル**でVMC証明書を提供開始
- メールにロゴを表示させるために必須である「DMARC」設定を、国内では自社、海外ではValimail社と連携して提供

## eシール



- 国産マウスピース矯正ブランド製造数No.1「Oh my teeth」の矯正サービス**電子同意書締結時**に採用
- D2C領域におけるユーザー同意管理にeシールを活用した**国内初の先進的な取り組み**

23



企業ロゴ証明書、VMC につきましては、証明書の発行とともに、導入企業がメールにロゴを表示させるために必須である DMARC の設定を、国内では自社で、海外では Valimail 社と提携して提供を開始しております。

また、普及拡大を進めている e シールにつきましては、国産マウスピース矯正ブランドを製造する No.1 である、Oh my teeth 様において、電子同意書締結に採用いただきました。こちらは、ユーザー同意管理に e シールを活用した、国内初の先進的な取り組みでございます。

## サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## PQC（耐量子計算機暗号）対応テスト用電子証明書



- 現在各国政府が量子コンピューターに巨額投資
- 従来なら数千年かかる計算をわずか数分で処理可能で、現在広く利用されているRSAやECCと呼ばれる公開鍵暗号が破られる可能性が高い

- 量子コンピューターでも解読が困難な「PQC(耐量子計算機暗号)」を採用した**テスト用電子証明書発行開始**
- 官公庁や金融、製造、医療など機密性の高いデータを扱う分野を中心に、**将来的なセキュリティ脅威への備えを支援**

24

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

続きまして、PQC と呼ばれる耐量子計算機暗号対応のテスト用電子証明書についてご説明いたします。

おそらく皆様もニュース等でご存知かと存じますが、現在企業を始め、各国政府が量子コンピューターの開発に注力しております。量子コンピュータは、従来のコンピュータとは比較にならない処理能力により、現在の RSA や ECC と呼ばれる公開鍵暗号が破られる可能性が非常に高いとみられています。当社は、量子コンピューターでも解読が困難な PQC（耐量子計算機暗号）を採用したテスト用電子証明書の発行を開始し、特に機密性の高いデータを扱う分野を中心に、将来的なセキュリティ脅威への備えを支援してまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 海外プレスリリース



- **2025年「Fortress Cybersecurity Award」暗号技術部門を受賞**  
世界的に権威あるサイバーセキュリティ分野の表彰制度。  
多様化するサイバー脅威からお客様のシステムとデータを守るソリューションを提供し続けている点が、業界から高く評価。
- **耐量子暗号ソリューション加速のための戦略的パートナーシップを発表**  
米国「Quantum PKI」社と戦略的パートナーシップを締結。  
PQCソリューションの提供をさらに加速。

25

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

グローバルサインの米国子会社が発表したプレスリリースを2点ご紹介いたします。

1点めは、アワード受賞の件でございます。世界的に権威あるサイバーセキュリティ分野の表彰制度である Fortress Cybersecurity Award において、2025年の暗号技術部門を受賞いたしました。多様化するサイバー脅威から、お客様のシステムとデータを守るソリューションを提供し続けている点を評価いただきました。

2点めは、耐量子暗号ソリューションの加速のために、米国、Quantum PKI社とパートナーシップを締結いたしました。これにより、耐量子暗号を活用したソリューションの提供が一層加速される見込みでございます。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 電子印鑑 GMOサイン 2025年Q2 四半期サマリー

電子契約サービス

業績

- 売上高・ARRともに **40%成長** を継続
- **営業黒字** を継続

行革DX（電子公印）

- GMOサイン電子公印（自治体における処分通知の電子化）の導入数が順調に増加 9自治体(24Q4) → **18自治体(25Q2)**

お客さま対応の強化

- **導入支援サービス** による新規顧客層を拡大
- 精度97%のAIサポートにより**顧客満足度と業務効率化を両立**

26

GMOグローバルサイン+HD  
#GlobalSign

続きまして、電子印鑑 GMO サインのサマリーです。

## 四半期売上高・ARR推移



27

※ Annual Recurring Revenue の略称。  
各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

GMOグローバルサイン+HD  
#GlobalSign

売上高・ARRともに高い成長率を維持しております。電子コインのサービスも順調に導入が進み、前期末の9自治体から現在は18の自治体様にご採用いただいております。また、機能面だけでなく、導入支援サービスなどのお客さま対応も強化しており、そちらも売上拡大に寄与しております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

こちらは、GMO サインの売上および ARR の四半期推移でございます。当四半期の売り上げは4億8,100万円となり、前年同期比40.3%増となりました。ARRも同様に、高い成長を記録しております。利益面に関しましても、営業黒字を継続しており、通期におきましても黒字を見込んでおります。

## 契約送信件数推移



約75%の  
国内上場企業が  
利用中

※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）  
※2 四半期毎の契約送信件数を集計。2025年第1四半期における大量のテスト送信（無料）を除外して集計。  
※3 2025年5月末時点「GMOサイン」利用企業数2,984社と2025年6月11日時点日本証券取引所の公式サイトで公表中の上場企業数3,953社から算出

続きまして、GMO サインの契約送信件数の推移となります。

四半期ごとの契約送信件数は、ご覧のとおり順調に増加しております。また、現在国内の上場企業3,953社のうち、2,984社75%の企業様にGMOサインをご利用いただいております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 電子公印とセキュリティ認証で自治体導入数でも No.1を目指す

自治体導入数

174※



### 導入自治体 (一部抜粋)

東京都 神奈川県 群馬県 北海道 滋賀県  
静岡県 山口県 大分県 熊本県 大阪府

### 取得済認証一覧

ISO/IEC27001 (情報セキュリティ)  
ISO/IEC27017 (クラウドサービスセキュリティ)  
ISMAP登録  
SOC2 Type2保証報告書受領  
JIIMA認証

LGWAN (総合行政ネットワーク) 対応

29

※ 2025年7月1日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

自治体への導入状況についてご説明いたします。

当四半期も京都市、大分市を始めとする、新たに 21 の自治体様に導入いただき、導入数は 174 件となりました。多くのセキュリティ認証や GMO サイン電子公印を差別化要素として、自治体導入数でも No.1 を目指して事業成長してまいります。

## お客さま対応の強化による顧客基盤の拡大

精度97%のAIチャットが業務効率化・顧客体験を向上  
(公社)IT協会の「カスタマーサポート表彰制度」奨励賞を受賞

電子印鑑なら  
GMOサイン

公認社団法人企業情報化協会  
GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

- 自社チューニングにより精度97%と高品質な対応が可能なAIチャットボットを活用
- 24時間365日体制対応により潜在顧客含む顧客満足度を向上

電子印鑑なら  
GMOサイン

神奈川県内の電子契約率 約5割 (全国平均約25%)

神奈川県内16自治体に広がる電子契約  
DX普及の決め手は  
サポート体制と地元企業の経営支援効果

茅ヶ崎市で事業者の経営支援効果 印紙税1,100万円削減

印刷郵送や来庁等の手間とコストを削減

説明会や電話サポート対応で 地元企業にも好評

- 導入検討段階の自治体や契約相手方の地元企業向け専用電話サポート窓口を常設
- 導入準備期における資料作成や説明会開催、導入後のサポート、専任の担当者の設置等が高評価

30

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

お客様対応の強化について、2点ご説明いたします。

1点めは、カスタマーサポートについてでございます。当社では、自社でチューニングしたAIチャットボットを24時間365日体制で稼働させており、顧客満足度の向上に繋げております。97%のお客様がチャットボットのみで対応を完結させており、その結果、IT協会主催のカスタマーサポート表彰制度において、奨励賞を受賞いたしました。

2点めは導入支援サービスでございます。導入を検討している自治体様だけではなく、自治体様の契約相手となる地元企業様向けにも、専用電話サポート窓口を常設するなど、当社の導入支援サービスは非常に高い評価をいただいております。今後もサービスの機能拡充のみならず、ソフト面においても強化を継続してまいります。

電子認証・印鑑事業

電子印鑑なら  
GMOサイン

## 契約企業（一部抜粋）



31

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

こちらは、導入企業の一覧です。

有料契約を締結した企業のうち、掲載許可を得た企業のみを掲載しております。金融機関様など、より多くの契約送信数を見込める企業様への導入が増えております。今後も、多種多様な企業様にご満足いただけるサービスを提供し、更なる市場拡大を目指してまいります。

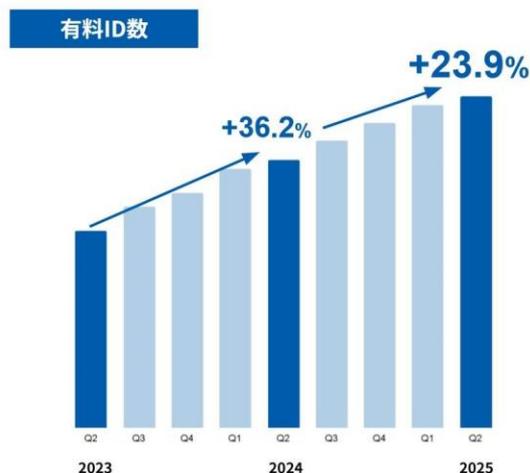
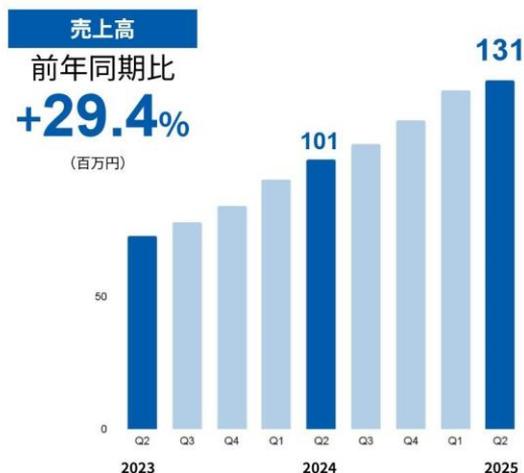
## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

## 四半期売上高・有料ID数推移

・ SaaS連携強化により、高成長率を維持



GMOグローバルサインHD #GlobalSign

32

次に、もう一つの重点商材である GMO トラスト・ログインの状況についてご説明いたします。

当四半期の売上は1億3,100万円、前年同期比約29%増となりました。主要 KPI と位置づけている SaaS 連携をさらに加速させたことにより、有料 ID 数も約24%増加と順調に事業成長が進んでおります。

## SaaS連携強化



- 連携アプリ数8,000件、SAML連携数370件突破、国内IDaaS市場において **トップクラスの連携数**に
- 連携数は導入時の大きな評価軸となるため、今後も各種サービスとの **連携拡大を図る**



- 「奉行クラウド」をはじめとする基幹業務システムを開発・販売する株式会社オービックビジネスコンサルタントと協業

GMOグローバルサインHD #GlobalSign

33

### サポート

日本 050-5212-7790  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



SaaS 連携につきましては、現在約 8,000 の連携実績があり、国内の IDaaS 市場においてトップクラスの連携数となりました。連携数はお客様の導入検討時の大きなポイントですので、引き続き連携拡大を進めてまいります。

また、会計ソフト市場で高いシェアを誇る、奉行クラウドの各種サービスにおける認証の一元管理を実現した、GMO トラスト・ログイン for 奉行クラウドの提供を開始いたしました。このような結果、実際に導入いただいている企業も拡大しております。

電子認証・印鑑事業

GMO トラスト・ログイン

## 契約企業（一部抜粋）



GMO グローバルサインHD  
GlobalSign

34

こちらは、トラスト・ログインの導入企業の一例でございます。

ご覧のとおり、大手企業様での導入が拡大しており、今後も信頼性と利便性を評価いただく形で、導入が進むものと見込んでおります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## インターネット黎明期から続く高い技術力

※主な商材



暗号化・脆弱性診断・データ保護、あらゆるセキュリティ課題に対応した、安全なクラウド・レンタルサーバー。



多様化するクラウド環境に柔軟に対応。AWSのスムーズな導入支援から設計・構築、監視・運用に至るすべてのフェーズで、お客さまの要件に沿ったきめ細かいサポートを実施。



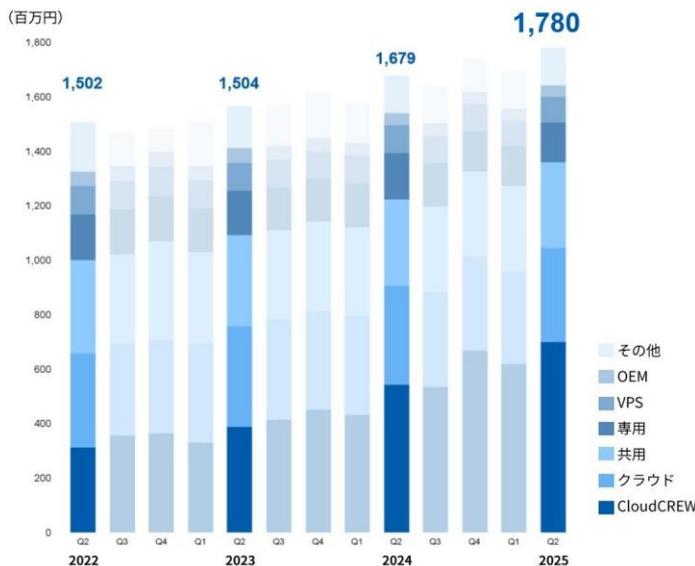
国内最安級のパブリッククラウド。初めてのクラウド導入から大規模な案件まで幅広いニーズにお応え。

36

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

続いて、当社の重要な安定収益元であり、持続成長分野と位置づけているクラウドインフラ事業についてご説明いたします。

## 商材別四半期売上高推移



売上高  
前年同期比  
**+6.0%**

(百万円)	2024	2025	増減率
Q2	1,679	<b>1,780</b>	+6.0%
累計	3,255	<b>3,474</b>	+6.7%

あらゆるセキュリティ対策で  
競合との差別化を図る

脆弱性診断・データ保護・  
メールセキュリティ・VMC

37

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

クラウドインフラ事業における、商材別の四半期売上推移についてご説明いたします。

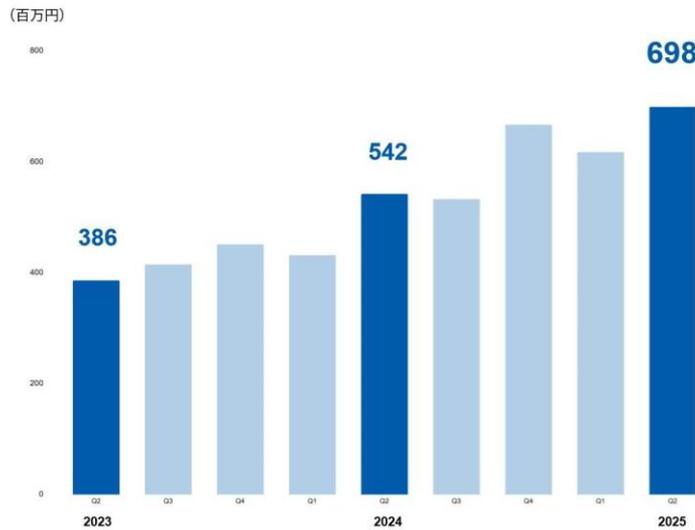
### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



当四半期のセグメント全体の売上高は、前年同期比 6.0%増の 17 億 8,000 万円となっております。当セグメント内のサービス全体でセキュリティ対策を強みとし、競合との差別化を図ってまいります。

## 四半期売上高推移



売上高  
前年同期比  
**+28.8%**

(百万円)	2024	2025	増減率
Q2	542	<b>698</b>	+28.8%
累計	974	<b>1,315</b>	+35.0%

38

GMOグローバルサイン+HD  
#GlobalSign

こちらは、事業を牽引する CloudCREW 単体の売上推移でございます。

当四半期の売上高は、前年同期比 28.8%増の 6 億 9,800 万円となっております。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## トピックス



- **AWS Summit Japan 2025** にブロンズスポンサーとして出展

会期中に多数のリードを獲得  
来期の売上増加に大きく貢献する



- 国内企業としては3社目となる「**AWS SMBコンピテンシー**」認定を取得

中小企業向けに信頼できるソリューション提供の証明となり、新規顧客獲得の好材料となる

39

GMOグローバルサインHD  
GlobalSign

CloudCREW が好調に推移している背景についてご説明いたします。

昨年より、AWS Summit JAPAN への出店を開始し、その会期中に非常に多くのリードを獲得できております。もちろんリードタイムがございましたため、目先の売上とはなりません、来期の売上拡大に大きく寄与できるものと考えております。

もう一点は、AWS SMB コンピテンシー認定の取得であり、日本国内事業者では3例めとなります。AWSを活用する中小企業様向けに、信頼できるソリューションを提供している証明となり、今後の新規顧客獲得に繋がる認定取得となっております。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 企業の「業務効率化・高付加価値化」を提供

※主な商材



スマートフォンでアナログメーターを撮影するだけで、AIが数値を読み取り、自動で集計・台帳記録を実現。



ポイントカードや会員証、クーポンなどの店舗販促ツールを電子化するアプリ制作サービス。自由度が高いのに低価格、サポート充実で制作から運用まで安心してお任せ。



ハウス電子マネーや企業が発行する紙の商品券などの電子化を支援するオンラインサービス。発行や運用に関する業務の効率化、利用者の利便性や満足度の向上、地域活性化に貢献。

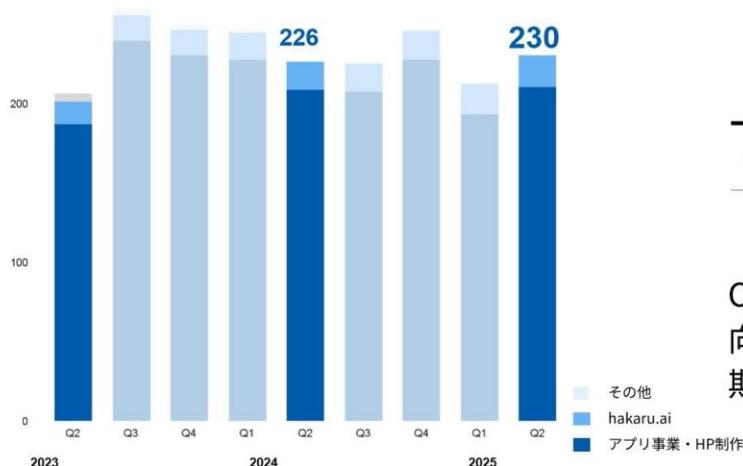
41

GMOグローバルサイン+HD  
#GlobalSign

決算説明の最後は、当社が未来への投資と位置付けている DX 事業でございます。

## 四半期売上高推移

(百万円)



売上高

前年同期比

+1.8%

(百万円)	2024	2025	増減率
Q2	226	230	+1.8%
累計	473	443	△6.4%

O2Oアプリ事業における自治体向け案件の期ズレ要因のため半期累計では減収

42

GMOグローバルサイン+HD  
#GlobalSign

こちらは、DX 事業全体の四半期売上推移でございます。

当四半期のセグメント全体の売上高は、前年同期比 1.8%増の 2 億,3000 万円という結果になりました。半期累積では減収となっておりますが、主な要因としましては、自治体向けのアプリ事業に

### サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasias.com



おける大型案件の期ずれによるもののため、通期に関しましては、業績予想どおりの着地を見込んでおります。

## KPI推移



競業の少ない特定業界向け（宿泊業・自動車業界など）カスタマイズにより、差別化を図る



まず、アプリ事業の状況についてご説明いたします。

GMO おみせアプリの導入店舗数は、協業サービスおみせポケットと合計で前年同期比 13.3%増の 3万 2,324 店舗となりました。今期より、特に競合の少ない宿泊業や自動車業界など特定業界向けにカスタマイズを強化し、差別化を進めております。

## 地方経済の活性化へ貢献

「マイナンバーカード認証機能」を追加し、さらに安全性の高いデジタル通貨に



44

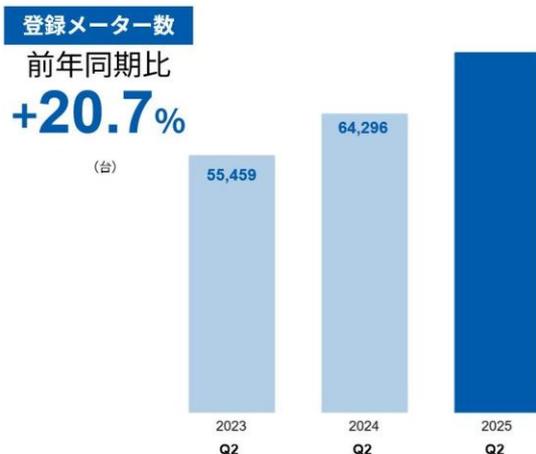
GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

次に、GMO デジタル Pay の状況についてご説明いたします。

ご覧のとおり、全国各地の自治体様や商店街様へデジタル商品券の導入が進んでおり、地方経済の活性化および自治体 DX の推進に寄与しております。さらに 4 月には、デジタル庁のデジタル認証アプリを活用した、マイナンバーカード認証機能の実装が完了し、より安全な運営が可能となりました。

## 導入実績

- ・ビルメンテナンス業に加え、製造業への営業を強化
- ・販売代理店専属の営業担当を配置し、新規顧客獲得を加速



契約企業 (一部抜粋)

45

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

続いて、DX 事業における AI 分野での投資事業である、haku.ai byGMO についてご説明いたします。

登録メーター数は順調に推移しており、累計での登録数は前年同期比 20.7%増の 7 万 7,581 メーターとなりました。従来の主要クライアントであるビルメンテナンス業界に加え、より企業数の多い製造業への営業活動を強化しております。また、販売代理店様に専任の当社営業担当を配置し、新規の顧客獲得を加速させてまいります。

**映像：**コトを IT で変えていく。GMO グローバルサイン・ホールディングス

**青山：**2025 年第 2 四半期決算についてのご説明は以上となります。

当社は、AI、IoT、ブロックチェーンといった先端技術に加え、量子コンピュータ時代にも対応可能な認証技術を開発・提供することで、より安全で使いやすいサービスをグローバルに展開してまいります。信頼できる認証と高いコストパフォーマンスを両立させ、世界中で必要とされるインフラ企業となるべく挑戦を続けてまいります。

「コトを IT で変えていく。」

今後とも、GMO グローバルサイン・ホールディングスを引き続きよろしく願いいたします。ご清聴いただき誠にありがとうございました。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 質疑応答

---

**司会 [M]**：続きまして、質疑応答に移らせていただきます。ウェビナーにご参加の皆様の質問を受けいたします。それでは、質疑応答を開始いたします。

**[Q]**：三点ご質問させていただきます。

一つめは、上期の進捗でございます。上期の進捗率がそこまで営業利益が高くなく、達成には上期比で、下期に2.5億円ぐらい差し引きだと営業利益が伸びる必要があると考えております。復調するための取り組みについて教えていただけないでしょうか。お話を聞いていますと、一部海外でSSLでは剥落があったみたいで、その影響も埋めなきゃいけないのかなと思いますが、そのあたりはいかがお考えでしょうか。1点めです。

**青山 [A]**：ご質問ありがとうございます。まず上期の進捗ということですが、昨年の第3クォーターに中国の大手のクライアント様のご利用分のSSLが他社に流れたということがございます。その影響が、今年の第1クォーターも引き続き起きております。ただ、それ以外の大型のクライアント様からの受注が好調に推移しており、結果、この第2クォーターでは、ほぼそれをカバーし始めている状況です。ですので、私どもは第3クォーター、第4クォーターも、今の状況でいけば、当初の計画どおりに着地できると考えています。

**[Q]**：わかりました。では、SSLだと思うのですが、これは他の受注もあるから成長率が加速すると、そういうイメージだということでしょうか。2QのSSLもそこまでYonYで強くなかったと思うのですが、いかがでしょうか。

**青山 [A]**：はい。SSLは海外での売上が大きいので為替の影響も受けますが、ただ特に中国と、それから中国で影響があった部分については、足元で新しいオーダーが多数入ってきておりますので、こういった部分で全てカバーできると考えています。

**[Q]**：確認ですが、新しいオーダーというのはいつの業績に効いてくるものでしょうか。2Qに入っているのか、または3Q、4Qで売上としては寄与するののかというと、いかがでしょうか。

**[A]**：第2クォーターから入り始めております。この調子でいけば、第3クォーター、第4クォーターは今まで以上の成長でいけると考えています。

---

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



[Q]：わかりました。ありがとうございます。二つめが、電子契約に関してでございます。送信件数が、ちょっと弱かった。30%成長と弱かったと思うのですが、説明資料によれば、振替というか無料送信分みたいなお話もあったと思うのですが。この、送信件数の成長率がちょっと下がってきている要因に関してご解説ください。2点めです。

青山 [A]：送信件数の成長率の伸びに関しては、母数が大きくなったことが一つ、一番大きな要因だと考えています。積み上げている件数に関して言うと、今までどおりのスピードで伸びています。

[Q]：わかりました。ありがとうございます。では、今期に電子契約を黒字化みたいなイメージだったと思うのですが、それに向けては順調というか。上期はかなり良い進捗だということでしょうか。

青山 [A]：はい、そのとおりです。上期で既に黒字化を達成しておりますので、通期ももちろん黒字で着地できる計画です。

[Q]：わかりました。ありがとうございます。最後が、来期の考え方です。今のところ、26年12月期まではその利益の構築復帰というか、長期の基盤の構築期だというお話ですが。そう考えますと、利益成長が加速するというか、やはり引き続き新しい投資みたいなものが来期も増えてくると見たほうがよろしいでしょうか。以上です。

青山 [A]：来期に関しては、今まで投資してきた新しくサービスインしました、企業ロゴ所有証明書（VMC）。こちらの売上が追加になってくると考えていますが、一方でこのコストというのはもう固定費として入っていますので、それほど大きく投資が増えるということは考えていません。

[Q]：ありがとうございます。とすると、SSLがうまくいけば電子契約も多分今期並みに増益してくるでしょうし、イレギュラーなことがなければ今期はある種、大型案件剥落を踏まえてのこの増益ですから、もっと加速するイメージを持ってよろしいでしょうか。

青山 [A]：はい。そのとおりです。

[M]：ありがとうございます。以上です。ありがとうございました。

青山 [M]：ありがとうございます。

青山 [A]：先ほど3点目にご質問いただいた来期のイメージですけれども。さらに足元で、GMOサイン電子公印が非常に好調に件数を伸ばしてきております。これは従来の電子契約のサービスに

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



比べて、自治体様からいただく単価が高くなりますので、来期は売上としても貢献いくと考えております。

この電子公印のサービスは、既にかかなりの高いシェアを私どもが獲得しています。というのも、当事者型の電子公印を行っているのはほぼ私どもだけでございまして、できればシェア 90%とかそういう形に持っていきたくに考えています。ここもぜひご期待いただければと思います。

**司会 [M]**：それでは以上をもちまして、決算説明会を終了させていただきます。本日はご参加いただきありがとうございます。

**青山 [M]**：ありがとうございました。

[了]

---

### 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

---

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com